

平成 29 年度 第 2 回
播磨高原広域事務組合 総合教育会議 会議録

| | |
|----------------|---|
| 招 集 場 所 | 播磨高原広域事務組合 会議室 |
| 開 会 | 平成 30 年 1 月 26 日 (金) 15 時 00 分 |
| 出 席 者 | 管 理 者 遠山 寛 副管理者 山本 実 教育長職務代理者 河野 雅晴 教 育 委 員 菅野 夏子、竹内 久美子、湯本 浩一 |
| 欠 席 者 | |
| 職務のため出席した者の職氏名 | 事 務 局 長 近藤 伸也 副 課 長 林 一志 主 査 小林 幸生 |
| 議 事 日 程 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 管理者あいさつ 3. 教育長職務代理者あいさつ 4. 出席者の紹介 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成 29 年度事業実施状況について (2) 平成 30 年度新規事業 (案) について (3) その他 6. 副管理者あいさつ 7. 閉会 |

(15時00分 開会)

事務局長

それでは定例会に続きまして、平成29年度第2回の播磨高原広域事務組合の総合教育会議を始めさせていただきたいと思います。

教育委員の皆様もご承知のとおり、昨年11月13日から本組合の管理者に遠山上郡町長が就任され、副管理者に山本たつの市長が就任されております。代表して遠山管理者からご挨拶をお願いいたします。

管理者

はい。皆さんこんにちは。この度は平成29年度の第2回目の播磨高原広域事務組合総合教育会議を開催いたしましたところ、公私ご多忙の中ご参集いただきありがとうございます。本日第2回目の総合教育会議となりますが、今年事業の実施状況の確認をいただくとともに教育委員会の皆様と意見交換を行い、検討させていただきたいと思います。

この総合教育会議は行政と教育委員会、それぞれのお互いの役割を分担し議論を尽くすことが大変有意義なことであると考えており、皆さんとともに播磨高原の教育行政の充実・向上に努めてまいりたいと考えております。本日はどうぞよろしく申し上げます。

事務局長

ありがとうございました。続きまして、河野教育長職務代理者からご挨拶をお願いいたします。

教育長職務代理者

先ほどお話がありましたように、本組合の総合教育会議は今年度2回目の開催となります。遠山管理者、山本副管理者には平素より播磨高原の教育の推進に義尽力賜り厚くお礼申し上げます。教育委員の皆様にも引き続きとなりますがよろしく申し上げます。本日の協議事項は、平成29年度事業実施状況について、平成30年度新規事業案について検討させていただきたいと思います。良い機会でございますので、播磨高原の教育がますます充実したものとなるよう、皆様何卒宜しくお願い致します。

事務局長

ありがとうございました。それでは、次に出席者のご紹介をさせていただきます。

<出席者紹介>

この総合教育会議は年2回の開催となっており、今年度2回目の開催となっております。参考資料として、この総合教育会議設置要綱を添付しておりますので、ご参照願います。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。設置要綱により、「会議の議長は管理者をもって充てる」となっておりますので、ここからの会議の進行につきましては、管理者をお願いしたいと思います。管理者、よろしくをお願いいたします。

管理者

それでは、議長を務めさせていただきます。ご協力よろしくお願ひいたします。初めに会議の各協議事項の公開・非公開につきまして、皆様にお諮りしたいと思います。本日の協議事項につきましては、(1)平成29年度事業実施状況について、(2)平成30年度新規事業(案)についての2つであります。

公開が適切であると考えます。公開に賛成の方は挙手をお願いします。

< 挙手 >

賛成全員でありますので、公開といたします。

それでは、次第に沿って、進めさせていただきます。(1)平成29年度事業実施状況について、1ページから3ページの事業名①のICT等整備、校務支援ソフト導入から⑱の自然学校推進事業までについて、事務局説明願ひます。

副課長

はじめに(1)平成29年度事業実施状況について、別冊の本事務組合教育大綱の基本目標、基本施策ごとに事業をとりまとめた表となっております。事業ごとに学校種別、継続新規、予算額、事業概要、活動の実績等を記載しております。なお、予算額の「学校費より支出」は、学校で管理している教育振興費からの支出でございます。これらの事業のうちから、特色ある事業について説明させていただきます。

事業① ICT等整備、校務支援ソフト導入

事業② オープンスクール開催事業

事業④ 道徳教育全体計画の見直し及び推進体制の確立

事業⑥ 講師招聘事業

事業⑨ 確かな学力の保障

事業⑩ 光都論文の制作

事業⑫ 世界たんけん事業

事業⑬ 英語検定・数学検定・漢字検定の小中合同実施

以上で1ページから3ページまでの特色ある事業についての説明を終わります。

管理者

それでは、ここまでで各委員からご意見がございましたら、ご発言をお願いします。ないようですので、引き続き説明をよろしくお願ひします。

副課長

それでは続きまして、4ページからの事業でございます。

事業⑲ 海に学ぶ体験学習

事業⑳ トライやるウィーク

事業㉒ 光都地区支援連携懇談会

事業㉔ 新宮町特別支援学級との交流会

事業㉘ スポーツクラブ21 はりまこうげんひがしへの参加

事業⑳中・西播磨地区小学校社会科教育研究大会
事業㉑小学校高圧機器更新工事
事業㉒中学校高圧ケーブル更新工事
事業㉓小学校体育館屋根漏水工事
事業㉔放課後児童クラブ及び放課後見守りボランティア

管理者 4ページから5ページの事業説明が終わりました。各委員からご意見がございましたら、ご発言をお願いします。

教育長職務代理者 海で学ぶ体験事業について、3年生の環境体験事業、5年生の自然学校と県の体験事業が実施されておりますが、4年生に海で学ぶ体験事業を入れるということは何か意図するものがあるのでしょうか。海というのは、山川海ということにつながっていると思うのですが、環境学習的なものも取り入れてはどうかと思います。例えば、カキの養殖についても山が大切であるので、山の養分が川を流れ海に届くというような環境学習的な要素も入れられてはどうか。

事務局長 そうですね。全てがつながっているということを事業の中で説明するなど関連付けていければと思います。補足になりますが、不審者や熊が出て、通学路の安全の確保という意味で青パトを申請し、職員が講習を受けて巡回等に取り組んでおります。消防署の方にも協力を依頼しております。また、トライやる・ウィークについても事務組合も事業所として登録しましたが希望者はありませんでした。そのような事業所も何件かあると思います。次に、放課後児童クラブについては、西栗栖小との合同で4名あれば開催されるという話を進めていたのですが、3名の希望でありました、3名の方についてはどこにも行けないということではなく、一番近くの東栗栖小学校まではデマンドタクシーで支援して実施されます。

管理者 かなり希望者が多いと聞いておりましたが、3名ですか。

事務局長 保護者からは、希望が多いので組合で実施して欲しいという希望がありましたが、実際希望をとってみると3名ということでした。プリスクールの保育料が下がってきているので利用人数は増えてきています。夏休みだけ学童に通いたいという方もいらっしゃいますがそれはできないので、人数には入っておりません。

委員 学童の件ですが、保護者のニーズに応えられる形になっているかどうかということですが、いかがでしょうか。

事務局長 夏休みの利用として、加えて2名の希望がありましたが、対象にはなり

ませんので、東栗栖にはいけますが、開設としては難しいということで保護者への説明は十分にさせていただいております。

- 委員 図書備品の充実について、不足冊数は他の学校と比べてどうでしょうか。
- 副課長 小学校については近隣と比べ多い方だと思います。しかし、中学校については近隣より不足している状況であります。
- 委員 定住自立圏で電子図書の貸し出しが始まったということがありますので、先生方にも指導をしていただければと思います。図書館の利用も難しい環境下だと思いますので、自宅でも閲覧できますし広げていただきたいと思います。
- 事務局長 たつの市の移動図書館も利用しておりますので、そのあたりも含めて学校にPRしていきたいと思います。
- 委員 のびのび教室についてですが、学力に差があると聞いており、見守りボランティアでは学力補充をされてはいないのですか。
- 副課長 30年度の新規事業において、放課後における補充学習に取り組んでいきたいと思っています。
- 委員 安全確保が難しい時には、放課後で預かっていただくというような趣旨は含まれていないのでしょうか。
- 副課長 来年度実施事業については補充学習としての取組と考えております。
- 委員 学力の二極化についてですが、優秀な児童生徒もおりますし相反する児童生徒も在籍しているのが現状であります。また、光都学園への受入の是非というか、受入の体制が遅れているのではないかと思います。現場としての対策を講じないと少ない人数の学級で、学級崩壊が起こるとか、障害のある児童生徒の割合が高いので、加配を付けるなどの対策が必要ではないでしょうか。また、施設も古いのでかなり痛みが激しいということもあります。放課後児童クラブについても、行政のジレンマと申しますか、組合には社会教育の分野がありませんので、努力はいただいておりますが難しい所であります。少人数でも可能である、社会教育に対応できる方策を講じることで地域につながりが出来るのではないのでしょうか。自尊感情の問題ですが、位置的なこともあり、たつの市や上郡町とつながっていると思える工夫をしなければならぬ。何かの形で子どもの自尊感情を育てていただき、それが学力の向上につながるかと思ひ

ます。少人数の子どもで学校の中で終わってしまうことのないようにする等の仕組みが出来ればよいのではないのでしょうか。

事務局長

出来るだけ加配教員の配置要望をあげていくようにしているところで
す。修繕に関しては、企業庁にも見ていただきましたが安藤建築の建築物
でもあり意匠権も難しく、第一段階としては、来週企業庁と安藤建築の事
務所に現状を話しに行く予定です。費用の事もあるので優先順位をつけて
取り組んでいきたいと思えます。

管理者

シンポジウムに参加したときに、子どもたちの発言を聞いておりました
ところ、この地域に愛着を感じておるように見受けられました。ただ、
子どもの数に対して発達障害児が多いようで、今回そのような話が聞か
れましたので、今日言われたことを次回につなげられるように、また子
供にとって素晴らしい故郷になるようにしていければと思っております。

管理者

引き続きまして、次の協議事項（２）に移ります。（２）平成 30 年度新
規事業(案)について、事務局から説明願います。

副課長

30 年度新規事業案を説明いたします。小学校について、水道管漏水修
理であります。安藤忠雄事務所の意匠に関して企業庁とも協議し、露
出配管が維持管理しやすいこともあり工法について話を進めていきたく
と思っております。次に放課後における補充学習等推進事業について、
低位の児童の学力を底上げするため、週 1 回放課後に地域人材による補
充学習をする事業となっております。次に小学校英語教育支援充実事業
について、たつの市においては平成 30 年度から小学 3・4 年生は週 1 時
間、5・6 年生は週 2 時間の英語教育に取り組みます。担任のみでは負
担が大きいため、外部講師の協力を得て英語教育の拡充を図ります。次
に子どもの創造活力応援事業ですが、講師招聘事業を充実させていきたく
と思っております。続きまして、中学校については高圧機器更新工事
ということで、今年度小学校において実施しましたが 30 年度中学校にお
いても更新実施するものです。次の放課後における補充学習等推進事業
については、小学校と同様の事業です。次に運動部活動活性化推進事業
については、中学校の部活動に講師を招いて専門的な指導を受けること、
また教員の負担軽減のための県の補助事業でございます。

管理者

平成 30 年度新規事業(案)について、説明が終わりました。それでは、
各委員ご意見がございましたら、ご発言をお願いします。

委員 補充学習事業についてですが、対象は全員でしょうか。それとも下位の児童のみでしょうか

副課長 学力向上事業ということで、下位の児童のみを対象と考えています。

委員 児童生徒が少ない中で、下位にいるということが個人情報としてわかるわけですから、また逆に補充学習を受けたいという子も現れるのではないのでしょうか。そのあたりの対応が難しいのではないかと危惧します。

事務局長 子どもが行きたいというだけではなく、保護者の同意を得て参加することになっております。但し、新規事業ですので、そういう課題も出てくるかもしれませんので注意しておきたいと思えます。

教育長職務代理者 中学校ではクラスを能力別にできないのでしょうか。先生にしたら、よくわかる子とわからない子を相手に授業を進めるのは大変なことかと思えます。

副課長 小学校ではついていけない児童を別教室に移し、加配されている通級の指導教員による指導をしております。

教育長職務代理者 放課後の事業ともうまくマッチさせて、子どもが行かされているという感じのないように、学級運営がやりやすいようにしていただきたい。自尊心については、上郡町で自尊心について分析したところ、よくできる子が、自尊心が低いということでした。親のレベルが高いため、子どもに出来ていないことを叱ることが原因ではないかということです。

副課長 小学校長によると、やはり親ができるので、子どもがよくできて当たり前のようになり、ほめることがないことが、自尊心が低い原因ではないかとの事でした。

教育長職務代理者 中学校では、小学校から附属中学校へいくことがあり、中学校としては学力が下がってくるのではないのでしょうか。附属中へいかななくても勉強できるということを親にも説明できるようになれば、というあたりが課題かと思えます。

委員 学力を上げることは大切かと思えますし、地域人材を利用した補充学習ということで、対比してしっかり見守ってくれる大人たちがいるということはやる気にもつながりますし、学力があがることで、自分を愛する、地域を愛するという感情が芽生えてくるのが自尊心をあげていくのにとっても良いのではないかと感じます。私の知っている範囲では、子どもた

ちの間では、放課後残されているからとっていじめにつながるとか、階層が出来たりはしないかと思います。ただ自分に劣等感を感じている子がいるのであれば、学力をつけてあげて自信につなげてあげたいと思います。また、素晴らしい講師を招致されて、いい体験学習ができていますが、学力が高い子たちには解り易いかもかもしれませんが、学力が低い子たちには解り辛いかもしれませんので、まずは学ぶ喜びを教えてあげて欲しいと感じております。

委員

子どもの自尊感情もですが、先生自身の自尊感情を高めてください。そして事務局がその下支えをできる教育委員会であってほしいと思っております。遠いところから勤務されておられるのですから、現場の先生とコミュニケーションをとっていただき、地域に受け入れられている、教育委員会に支えられていると思えるよう現場の意見を吸い上げていただきたい。小学校の英語のように指導要領も変わり低位の子どもたちにも指導していかなければなりません。先生方にそういったに熱意と情熱を持っていただけるように、現場が望んでいることにはできるだけ対応出来るように行政として下支えができるようにしていただきたい。

委員

学校の傷み具合ですが、確かにかなり傷んでおりました。子どもたちにとってそれが慣れになってしまい、環境が悪い中にいるのはよくないと思います。不自由をするというのは構わないと思うのですが、悪い環境の中でその環境に慣れて汚いを汚いと感じない、きれいなものに落書きをしてしまう、花を摘んでしまうといったようなことも、そうゆうところから来るのではないのでしょうか。難しいことではありますが、早いうちに環境を整えてあげて、学校を大事にする子どもたちになっていただきたいと思えます。

管理者

まだまだ議論は尽きませんが、時間も過ぎてまいりましたので以上としたいと思います。

事務局長

それでは閉会にあたり、副管理者からご挨拶をお願いいたします。

副管理者

本日はお忙しい中、長時間にわたり熱心に議論をいただき誠にありがとうございました。皆様からお聞かせいただいた貴重なご意見を今後教育委員会と相談しまして、ご意見が通りますようにわれわれも一生懸命頑張りたいと思いますので今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。